



■ バイオフィリアの実践と緑の戦略 —都市と自然が共存するバイオフィリックシティでの園芸療法活用—



園芸療法士がストレスを下げる植物の楽しみ方を指導

植物や自然によるストレス軽減を体験

人にはバイオフィリアと呼ばれ、人以外の生命や自然とのつながりを好む性質がある（1984. ウイルソン、ハーバード大学教授ら）と考えられています。この特徴は、安全で見通しのよい緑の景観を見た時や、美しい植物にふれた時、人にストレス回復をもたらします。

この特徴を活かして、植物や園芸を心や身体、社会性といった健康の回復や疾患予防に用いるのが園芸療法であり、都市生活にこうした機能をねらったものがバイオフィリックシティです。バイオフィリックシティを考える上で、園芸療法士のような人と植物をつなぐ専門家の存在は欠かせません。

本校の園芸療法課程修了生は269名（令和5年3月現在）となり、兵庫県知事認定園芸療法士として医療・福祉・教育などの分野で活躍しています。一方、新型コロナウイルスの感染拡大や社会情勢の変化により、市民にも慢性的ストレスをかかえる人が増え、自然や植物を活用したセルフ・ヒーリングのニーズが高まっています。

園芸療法課程開講20周年となる昨年10月に本校と兵庫県園芸・公園協会が主催するウェルビーイング事業



園芸療法士とともに青空のもとでマインドフルネス



創作活動 受講者に共感と癒しを与える花マンダラ

として「身近な自然と植物にふれる 暮らしの中のセルフ・ヒーリング講座」をあわじグリーン館と舞子公園で開催しました。園芸療法士が講師となり、植物の癒しの説明、植物や自然の中でマインドフルネス体験、植物を使った創造活動を行い、講座開始前後で参加者の心理的ストレスが下がること、植物や自然景観を見ながらのマインドフルネス体験が心拍数を下げることがを検証しました。本年度は明石公園も舞台として講座を拡大継続します。

園芸療法の展望

現在、医療・福祉施設等への園芸療法士派遣事業や民間企業が有するノウハウ（木質ファイバー培養土やレイズドベッド）と本校が有する園芸療法のノウハウを活用した産学連携プロジェクトを展開しています。

園芸療法の対象は、医療・福祉分野にどまらず、地域住民にも広がっています。本校では、これからも充実した教育を継続して、バイオフィリアを活用する園芸療法士を育成・輩出し、心身と社会的な健康（ウェルビーイング）の実現に寄与していきます。

■世界とシェア「緑の戦略」ーシンガポールとの交流事業

本校では、緑の活用を学び、国内での活用方法を検討するために、海外の機関との交流を進めています。令和4年度は、緑の先進的な施策を実践しているシンガポールとの交流を行いました。

令和4年11月14日、神戸新聞淡路政経懇話会、(公財)兵庫県園芸・公園協会、(株)夢舞台と共催でシンガポールのピーター・タン特命全権大使を淡路島にお招きし、「シンガポールの国づくりと淡路島の将来展望」と題して、シンガポールの緑化政策について講演していただきました。リー・クアンユー氏のもと建国当時から持続可能な国づくりを推進し、緑化はもちろん、経済も共に発展を続けるシンガポールの取り組みに、多くの学びと気づきを得ることができました。

また11月下旬、国立シンガポール植物園のタン・ファイ・ヨック園長とファン・レイ・ケン学芸員の来日の際に、本校にお立ち寄りいただき、本校の取り組みやガーデンの植物等を紹介・案内する機会を得ました。その翌日に、学生も交えて高知県立牧野植物園を見学しました。

今回のシンガポール植物園との交流を機に、都市内での緑の活用方法について更に研究等を進め、緑をテーマとしたまちづくりを先導できる学校へ進化していきます。



■ランドスケープの新潮流セミナー

世界各地のランドスケープの事例を学び、可能性について議論する場として、「ランドスケープの新潮流セミナー」を開催しています。令和4年度は、オンライン形式による海外交流セミナーを3回開催し、国内外から計252人が参加しました。

台湾、韓国、中国の大学からのゲストと本校の教員が、互いの知見を紹介、意見交換することで、東アジアを中心とした海外の最新動向を把握するとともに、多様な視点からとらえることの重要性が再確認されました。参加者からは、世界の様々な情報を知ることができてよかった等の感想が多く、ご好評をいただきました。令和5年度もセミナーを継続し、「質の高い教育をみんなに」を実践できる学校づくりを目指します。

4 質の高い教育をみんなに

17 パートナースHIPで目標を達成しよう

淡路景観園芸学校

ALPHA 兵庫県立大学環境健康福祉学部デザイン学科(特選)

経済・経営 観光
農業・園芸・まちづくり
学びたい学生・社会人学生が選ばれる!

ランドスケープの新潮流セミナー 地域経営とランドスケープ
農業景観と地域観光 II

2023年
3/11
(土)
18:30~20:00

講演(通訳あり)
■「中国桂林」龍脊梯田「観光における持続可能モデル」
呉忠軍(中国桂林理工大学 教授、観光及び風景園林学院 院長)
■「棚田の生物多様性と現状」
澤田 佳宏(兵庫県立淡路景観園芸学校 / 兵庫県立大学大学院 総環境景観マネジメント研究科 准教授)

全体討論
司会: 山本 聡(兵庫県立淡路景観園芸学校 / 兵庫県立大学大学院 総環境景観マネジメント研究科 教授)
総括: 中瀬 聡(兵庫県立淡路景観園芸学校 学長 / 兵庫県立人と自然の博物館 館長)

お申し込みはウェブサイト上の申し込みフォームより
<https://www.awaji.ac.jp/alpha>
お申込みを済ませた方に電子メールを送ります。Zoomのインストールが必要です。

200名以上
オンラインセミナー
参加費無料 要申込
お問い合わせ
awaji@awaji.ac.jp

■ TOPICS

中国 華南理工大学建築学院風景園林系 桂林理工大学観光及び風景園林学院と「学術交流協定」を締結しました

2022年12月、本校の緑環境景観マネジメント研究科と中国の華南理工大学建築学院風景園林系、桂林理工大学観光及び風景園林学院の2大学が学術交流協定を締結しました。華南理工大学は広東省広州市、中国南部の亜熱帯に位置し、豊富な花と緑の研究素材があり、3Dプリントをランドスケープに応用する経験も豊かな教育機関です。桂林理工大学は世界遺産で有名な観光地の桂林市にあり、少数民族の文化と農業観光を融合した教育研究分野が高く評価されている大学です。今回の学術交流協定締結により、本校の景観園芸分野の国際的新展開、より豊富な研究フィールドの獲得、多文化交流に基づいた新たな観光計画手法の構築などの進展が、大いに期待できます。

「Gardens in ALPHA」が新しくなりました

2023年3月、淡路景観園芸学校のガーデン案内リーフレット「Gardens in ALPHA」をリニューアルしました。新しくできたガーデンを追加し、地図も見学可能な場所を中心にして見やすくなりました。別紙として定期的に季節の植物の見どころ紹介もつくる予定です。これから花の多い季節が続きます。ぜひALPHAガーデンにお立ちよりください。



兵庫県立淡路景観園芸学校
<https://www.awaji.ac.jp/>

最新の情報は
ホームページで
随時発信中!

